

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2010年5月23日現在

概況 オレゴン州の2010年5月23日に終る1週間の気象は、降雨を伴う低温気象であった。Willamette Valleyの最高気温は69~75度Fとなったが、最低気温は36~41度Fであり、平均気温は平年を3~5度F下回った。NC地区の最高気温は68~81度Fと幅があったが、最低気温は初春の気温であり平均気温は各地4~8度F平年を下回った。1週間の降水量はValleyでは1.68~2.28インチ、NC地区では0.42~1.06インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は3.7日(前週:5.6日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は、“Surplus”が増加したが、“Short”が減少し、全体の状況は昨年より良い状態が続いた。Washington郡の冬小麦は出穂し、生育状況は良好と報告されたが、同時に雨天が続く農薬散布が出来ないことより、冬小麦の病害の広がりが心配された。Valleyの他の郡の冬小麦にも同様に病害(leaf rust)が発生したとの報告があった。冬小麦の出穂は昨年並びに5年平均より遅れており、5月23日現在は全体の5%が出穂した状態であった。NC地区の冬小麦は降雨により小麦の生育は順調と報告されたが、地温と降雨が続いているため、stripe rust(ムギ黄さび病)の発生が報告された。病害の発生は昨年以上であるが、2005年の状態程ではないと報告された。春小麦は97%が出芽し、昨年並びに5年平均より多少早い進展を示していた。冬小麦の作柄は前週より“Excellent”が多少減少したが、“Fair”が減り“Good”が増加した。

土壌水分(*)

(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	1	4	72	23
Last week	1	6	82	11
Subsoil	0	10	71	19
Last week	0	13	72	15

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	5	3	16	28

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	6	28	56	9
Last week	1	5	36	47	11

春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Emerged	97	93	95	94

春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	6	27	59	8
Last week	NA	NA	NA	NA	NA

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years